

# 経営指導員が発見! キラ★星企業

No.78

姫路商工会議所には様々な業種や規模の事業所が加入されています。  
そのなかで、当所経営指導員が出会った「キラッ」と光る事業所の取り組みをご紹介します!



## 今までの歩み

「株式会社EBTISAM(イプティサム)」は“国際貢献”と“社会貢献”というキーワードを掲げ、海外雑貨の販売、飲食業、学習塾を運営する会社である。代表取締役の井上氏は、幼い頃から、難民キャンプについての報道やドキュメンタリーを見たことで開発途上国へ強い関心があった。保育士として勤務していた頃、初めての海外旅行でタイに行った際、日々の生活に困窮している子どもたちを目の当たりにし、強い衝撃を受けた。帰国後、空港でJICAボランティア募集の張り紙を見つけ、その中の「幼児教育」の分野に強い関心を抱き、「将来絶対に参加しよう!」と決心した。そして、保育士を約10年続けたのち、念願だった「幼児教育」ボランティアのためにエジプトへ渡航。エジプトでは約2年間、現地の保育従事者に保育に関する知識や技術を伝えるとともに、アラビア語版保育集を作成するなど熱心に取り組んだ。この経験は、井上氏自身に国際貢献への意識を強く根付かせ、同社の事業内容に大きく影響を与えるターニングポイントとなった。任期満了を迎え日本に帰国後、この経験を活かして、開発途上国の現状を子どもたちに伝えたいという思いから、JICA国内センターで勤務しながら小学校教諭の免許を取得した。その後5年間、小学校教諭として人権や道徳、国際開発といった分野の授業を担当し、開発途上国の現状などを伝えた。そして再び開発途上国のために尽力したいという思いが高まり、世界の経済状況や現状を詳しく学ぶべく大学院へ入学。開発途上国の経済力を高める仕組みづくりや、当該国が自国として発展するための支援方法を学び、修士号を取得した。その後、国際貢献に加えて社会貢献にも取り組む事業活動の開始を決意。まずは、社会貢献の一環として子どもたちの居場所を作りたいという想いを実現するため、コミュニティー施設として学習塾と書道教室を開業した。事業は好調だったものの、家庭の事情により、一時はすべての事業を中断せざるを得ないという苦境にも直面した。事業の再スタートにあたり、改めて事業内容を見直した結果、社会貢献事業としての学習塾は残しつつ、国際貢献できる取組をメ

開発途上国の発展のためにできる支援の輪を広げていきませんか?  
遠い世界を身近に。

株式会社EBTISAM  
イプティサム  
代表取締役 井上由美子

インにシフトし、2021年、法人成りを経て現在に至る。同社が事業を通じて行う国際貢献について、井上氏に詳しくお聞きした。

## “国際貢献”できる事業の仕組みとは

同社で販売している雑貨、商品のほとんどはケニア・エジプトといったアフリカ圏から仕入れている。多くの商品は、現地のNGO団体のほか、井上氏がかつて渡航した際に培った人脈による仕入れルートであるため、日本では非常に希少価値が高い。取り扱う商品の製作者は、スラムに住むシングルマザーや自立支援施設の卒業生などとメッセージ性が強く、購入者は後を絶たない。さらに、商品代金の一部は孤児院や同社が理事として関わりのあるジンバブエのNGO団体に届く仕組みのため、お客様からは「素敵以上に、購入することで支援に繋がるのであれば是非。」と評判も上々だ。

また、健康を意識した弁当や惣菜を販売している飲食業部門では、「TABLE FOR TWO」プログラムに参画している。食事をするだけで誰でも気軽に国際貢献できるのが魅力だ。井上氏は、「当社の商品を知っていただくことによって、国際貢献に興味を持つ方が増えて支援の輪が広がればと考えています。」と語った。

## 今後の展望

井上氏は「アフリカ圏での仕入れ先を広げていきたいです。また、当社で行っている国際貢献や社会貢献事業に賛同してくださる方が増え、一緒に活動できれば嬉しく思います。」と語った。同社の今後の活躍にも期待したい。

※「TABLE FOR TWO」プログラムとは、定食や食品を購入すると1食につき20円が開発途上国に寄付され、それが子どもの学校給食になる仕組みである。20円は開発途上国の給食1食分相当の金額。

## DATA

事業内容：海外雑貨の販売、飲食業、学習塾  
所在地：〒671-0234 姫路市御国野町国分寺726-1  
電話：079-287-8506  
HP：<https://yumebako26.jimdoofree.com/>  
<https://mamanouras-onlinestore.com/>